

全日本大会の前日に行われた O-Forum。パネラー木村のプレゼンは長野県のとりにくみを紹介。

2016年3月19日(土) 愛知県岡崎市  
O-Forum「オリエンティアをふやそう」

### 学生時代のサークル活動

競技登録者数ベースでオリエンテーリング人口のおよそ半分は大学生です。残る半分はおよそ社会人と考えてよいでしょう。同じオリエンテーリング競技を行っていますが、その取り組み方は大きく違います。まずはここを認識しましょう。

大学生は学校サークル活動の一環としてオリエンテーリングを行っています。サークル活動の対象がたまたまオリエンテーリングだけでなく、大学にクラブが無ければ別の体育会系クラブか文科系サークルに入っているか、バイトに明け暮れているか、恋愛に没入しているか、自分探しに走っていることでしょうか。

これら学生は学生生活の中にオリエンテーリングが位置づけられており、ほとんどは学生生活の終了と同時にオリエンテーリング活動も終了します。これはオリエンテーリングに限ったことではなく、野球、サッカー、ラグビー、陸上、ラクロス、ボートなど何のサークル活動でも同じです。

大学の新鮮で多くの人がオリエンテーリングをはじめますが、こうして学生競技者の殆どが4年以内に活動を終了してゆきます。

こうした大学のサークル活動メンバーに、生涯スポーツの一環としてオリエンテーリングを続けていただくためには、サークル活動と同じような人の集まりが求められます。その多くは同期クラブが担っています。ただ同期クラブの活動寿命は短命なものが多く、同期クラブ活動は徐々にアクティビティが減ってゆき、スポーツクラブとしての活動はいずれ消滅してゆきます。

### 学生は人財

私の住む長野県の場合、大学クラブは今や存在しません。アクティブオリエンティアの獲得は他の都道府県に在学している学生オリエンティアをいかに長野県メンバーになっていただくかに尽きます。卒業して長野県に戻ってこない人もいますが、いずれ故郷に帰ってくる人もいるはずですから、とにかくできる限り多くの学生と交流をもち、いつでも長野県のオリエンテーリング活動に参加できる下地を作っておくことが大事です。

### 全日本リレーを利用する

長野県出身者と長野県オリエンテーリング協会を繋ぐ道具として全日本リレーオリエンテーリング大会を利用しています。学生に長野県代表になっていただき、郷里の名を背負って走ってもらうのです。

この時に連絡先の交換が必要となります。長野県の場合はメーリングリストに加入していただいています。このメーリングリストは全日本リレー情報も流れるのですが、それ以後も長野県のオリエンテーリング情報も流して、一度選手になったかたに長野県の情報を提供し続けています。

こうした全日本リレーを通じたリクルーティング活動があるから、今の長野県協会があるといっても過言ではありません。

### 選手情報の獲得

長野県のふるさと選手情報は、JOA(日本オリエンテーリング協会)のwebサイトにある競技者情報から得ています。今や学生登録選手が全員JOAの競技者として登録されるシステムとなっています。

日本学生オリエンテーリング連盟がJOAに会員として加盟したおかげで、こうした選手情報の流通が可能となりました。学連加盟の最大のメリットと言っているでしょう。

個人情報保護のため、JOAの選手登録情報として公開されるのは、ふるさと登録を含めた登録都道府県、氏名、性別、大学名だけです。

しかしこれだけ判れば、あとは意欲さえあれば何とかできます。大学のクラブ代表者の連絡先を調べて、ふるさと登録者に全日本リレー長野県チーム

に加わってほしい旨を連絡してもらっています。

大学クラブ代表者には、大会会場で直接コンタクトします。判らないときは知人やOBを連れて教えていただいてメール(FaceBook)します。それでも大学クラブ代表者に辿りつかないなら、日本学連の事務局に問い合わせてもいいでしょう。

こうした動きにあわせて、日本学連でも選手登録の際にふるさと登録することを推奨しています。ふるさと登録の申請が無ければ、大学所在地の都道府県の登録選手ということになります。

### チームウェアが故郷と結ぶ

このように連絡が取れた学生選手に、長野県のチームウェアを差し上げました。本格素材にNAGANOのロゴ入りOウェアです。貸与ではありません。差し上げました。投資です。

この学生のアパートにはNAGANOのロゴが入ったウェアがどこかにしまわれたり、練習の時に使ってもらっているはずですが、それがどれだけ長野県への帰属意識を高めるかを想像してください。学生クラブでウェアを揃えているところは多いのですが、Oウェアは消耗品だし、長期の合宿では2着持っている時があります。

確かにお金はかかりますが、これは投資だと考えて、長野県協会が関わるイベントからの収益金を充てています。

収益を出すことを目指さないイベントが多いようですが、こうした育成の明確な目標があれば、各都道府県協会はどうやって収益を出すかを真剣に考えるのではないのでしょうか。それくらいは社会人の力の見せどころでしょう。

### まとめると

- ・新歓は学生の力が大きい
- ・地域協会やクラブは学生のうちに付き合いを始める
- ・手段として全日本リレーを利用
- ・選手登録情報を元に学生クラブと連絡
- ・地域の代表選手、選手団の構成員など、役目や居場所の提供
- ・チームウェアなどを使ってチームの一員としての意識づくり
- ・その後、継続的にイベント、交流会の情報を提供する

(木村佳司)